

1 PLAN(目的・概要)

政策名	国際競争力及び産業競争力の強化と港湾物流の環境変化に対応した港づくり	30年度事業・施策評価結果		責任者	建設部 事業推進課長	
施策名	国際・国内海上輸送機能の強化	成果	コスト			
事務事業名	西航路拡幅事業			連絡先	052-654-7921	
				連携課	計画担当	
目的	対象(誰・何を)	西航路			事業 期間	令和元年～4年度
	意図(どういう状態にしたいか)	大型化が進むコンテナ船などを安全かつ効率的に受け入れるため拡幅します。				
概要	名古屋港西部地区には、飛鳥ふ頭と鍋田ふ頭を中心にコンテナターミナルが集約されています。このような中、コンテナ船も大型化しており、西航路を全長が航路幅の半分以上の船舶が航行する場合、全長50m未満の小型船を除くすべての船舶は対面航行が認められず自由に航行できないため、航路を拡幅し航行管制の対象となる船舶を減少させ、効率的な輸送を実現するものです。 事業手法:直轄事業			根拠 法令等	社会資本整備重点計 画法 名古屋港港湾計画	
令和元年度の実施予 定	国が航路浚渫に向けた調査を実施し、その内容について国と協議を行います。			実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
				関連 シート		

2 DO(実施)

令和元年度に実施した 内容・結果	国と協議を行い、航路浚渫に向けた調査を国が実施しました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	合計	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円			(60,000) 20,000	(60,000) 20,000	
人件費	千円			275	275	
合計	千円			20,275	20,275	

工事費の()は、国費負担分を含んだ金額です。

3 CHECK(検証)

成果目標名		29年度	30年度	元年度	最終目標	4	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
整備面積 (㎡)	目標			8,914		520,000	整備面積は、事業費による換算数量です。	
	実績			8,914				
(進行管理型)	事業進捗状況(元年度)			順調・やや遅れ・遅れ				
	目標							
	実績							
	事業進捗状況(元年度)							
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	予定通り順調に事業が進捗しています。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○ 船舶の大型化が進んでいることから大型船に対応した港湾施設の整備の必要性は高いと考えております。						
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか?	○						
	期待どりの成果が得られているか?	○ 航路拡幅により大型船の航行管制対象の船舶が減少するため、事業の有効性は高いと考えております。本事業の進捗状況としては、順調に進んでおります。						
効率性	最小のコストとなっているか?	○						
		コストが最小となるよう精査して事業を進めています。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	船舶が安全かつ円滑に入出港できる航路幅・水深を着実に確保する必要があるのであるため。
課題		2年度以降の取組	
関係者調整を行いながら、事業進捗を図っていく必要があります。		関係者調整を行いながら、着実に事業を進めていきます。	